

トヨタ、  
ワイドボデーのセリカGT-FOUR A  
を新設定、ならびに  
フルオープンカー セリカ コンバーチブル  
を追加

— 同時に、シリーズの一部を仕様変更 —

トヨタ自動車(株)は、高性能スペシャルティカーセリカにワイドボデーのセリカGT-FOUR A (アドバンス)を新設定、ならびに四人乗りフルオープンカーセリカ コンバーチブルを追加するとともに、シリーズの一部を仕様変更し、8月24日より全国のトヨタカローラ店を通じて一斉に発売した。



セリカ GT-FOUR A (E-ST185H-BLMVZ) '90.8

チルト&スライド電動サンルーフ、215/50R15 88Vハイグリップスチールラジアルタイヤ、本皮革スポーツシートはオプション



セリカ コンバーチブル タイプ G (E-ST183C-BKMVF(G)) '90.8

今回新設定したワイドボデーのセリカ GT-FOUR A (2.0ℓ 3S-GTE型エンジン搭載車)は、フロントフェンダーパネル、リヤクォーターパネル、リヤバンパーの大型化、215/50R15 88Vハイグリップスチールラジアルタイヤ、新意匠の15インチアルミホイールの採用などにより、一段と力強いエアロダイナミックフォルムを造り上げている。

また、セリカ コンバーチブルは、標準仕様とタイプGの2グレードを設定し、エンジンは、高性能スーパーレスポンス スポーティツインカム2.0ℓ 3S-GE型エンジンを搭載している。

このセリカ コンバーチブルは、トヨタ自動車㈱の積極的な国際協調の一環として、米国トヨタ自動車販売㈱の協力を得て企画、開発されたものであり、トヨタ自動車㈱がベース車両を製造、優れた車両架装技術を持つ米国ASC社でパワートップを架装している。

〈参考：ASC社概要〉

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 社名    | ： ASC Inc.                 |
| 本社所在地 | ： ミシガン州サウスゲート市             |
| 会長    | ： H. C. プレクター (PRECHTER) 氏 |
| 設立    | ： 1965年                    |
| 事業内容  | ： コンバーチブル、サンルーフなどの車両架装 ほか  |

また、従来のセリカシリーズのZ-R、S-Rグレードに搭載の2.0ℓ 3S-FE型エンジンを改良し、第2世代のハイメカツインカムエンジンとしてたて型で細径の吸気ポートやハイリフトカムの採用により、吸入効率を向上させるなど、性能を向上、さらに装備を充実させるなど、仕様の変更を行っている。

なお、セリカ GT-FOUR Aの当面の月販目標台数は300台を予定している。セリカ コンバーチブルの販売は月販100台程度を見込んでいる。

(納車は9月下旬からの予定。)

主な特長、標準価格は以下の通りである。

## ◎主な特長

### 【セリカ GT-FOUR A】

#### 1. 外 観

ワイドボデーのセリカ GT-FOUR A (アドバンス)は、セリカ GT-FOURをベースに、フロントフェンダーパネル、リヤクォーターパネル、リヤバンパーを大型化、全長 4,430mm (+10mm)、全幅 1,745mm (+55mm)と、幅広のボデーとし、一段と力強いエアロダイナミックフォルムを造り上げている。

また、215/50R15 88V ハイグリップスチールラジアルタイヤ、ワイドボデー専用の新意匠 15 インチ アルミホイールを採用している。

#### 2. 装備の充実

セリカスーパーライブサウンドシステム (10スピーカーCDプレーヤー付カセットシステム)、淡黄色ヘッドランプを標準設定するなど、装備の充実を図っている。

### 【セリカ コンバーチブル】

#### 1. パワートップ (電動式幌屋根) の採用

パワートップは、フロントウインドウ上方部にあるロック機構の操作とセンターコンソールに設けたスイッチ操作により運転席に座ったままで簡単に開閉できるものとなっている。

パワートップは、十分な剛性を持った構造とし、素材にはアクリル繊維などを組み合わせた三層構造の「ステイファスト地」を採用、優れた耐久性、耐水性を確保している。

\*ステイファスト地の特長 - アクリル織物生地を表面と裏面に中間に

ゴムシートを配して、耐久性などを確保しながら、ソフトな手ざわりと、織物のもつ高級な風合を醸し出したシート地

## 2. 外 観

ボデーは、リフトバックタイプのセリカシリーズとは異なり、トランクルームを持つ専用ボデーを採用している。

また、リヤスポイラー、リヤコンビネーションランプ、テープストライプなど、それぞれ専用品を採用し、スポーティで流麗な外観としている。

## 3. 車種体系の充実

コンバーチブルとコンバーチブルタイプGの2グレードを設定し、車種体系の充実を図っている。

特にタイプGは、本皮革スポーツシート、オートドライブ、ライブサウンドシステム（8スピーカーCDプレーヤー付カセットシステム）を標準設定するなど、豪華仕様となっている。

## 4. エンジン

セリカシリーズで好評の高性能スーパーレスポンス スポーティツインカムエンジン 2.0ℓ 3S-GE型（最高出力165ps/6,800rpm、最大トルク19.5kg・m/4,800rpm）を搭載している。

## 5. 安全装備の充実

フロント、リヤともに3点式シートベルトの標準設定を初め、滑り易い路面での制動時に威力を発揮する4輪ABS（アンチロックブレーキシステム）をタイプGに標準設定、また、被視認性に優れたリヤスポイラー内蔵のLED（発光ダイオード）ハイマウントストップランプを全グレードに標準設定し、安全性の向上を図っている。

【シリーズの一部を仕様変更】—— Z-RグレードおよびS-Rグレード  
に第2世代ハイメカツインカム2.0ℓ  
3S-FE型を搭載

## 1. エンジン

第2世代ハイメカツインカムエンジン2.0ℓ 3S-FE型は、従来のハイメカツインカムのコンパクトな燃焼室をそのままに、よりストレートなたて型で細径の吸気ポート、ハイリフトカムの採用などにより、吸入効率を向上、さらにノックコントロールシステムの採用により、高圧縮比を実現し、最高出力140ps/6,000rpm（従来型比+15ps）最大トルク19.0kg・m/4,400rpm（従来型比+1.8kg・m）と高性能を実現しつつ、低燃費（10モード燃費\*12.4km/ℓM/T車）（従来型比+0.2km/ℓ）を達成させている。

\* 運輸省審査値、㊦等価慣性重量 1.25t

## 2. 装備の充実

Z-Rグレードは電動格納式ドアミラー、カセットケースを標準設定、S-Rグレードはプッシュ式ヒーターコントロールパネル、プッシュ式灰皿カップホルダーを標準設定し、使用性の向上を図っている。

## 3. 外観色の変更

セリカの持っている斬新なエアロダイナミックフォルムのスタイルを一層引き立たせるブルーマイカメタリックを下記グレードに新たに採用している。

{ GT-R、Z-R、S-R、GT-FOUR A、GT-FOUR  
GT-FOUR V、GT-FOUR RALLYグレード }

以 上

◎メーカー希望小売価格（消費税は含まず）

（応急タイヤ、標準工具一式付、単位：千円）

| グレード      | エンジン   | ミッション | 東京    | 名古屋   | 大阪    |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|
| GT-FOUR A | 3S-GTE | 5M/T  | 2,900 | 2,895 | 2,900 |
| コンバーチブル   | 3S-GE  | 5M/T  | 2,485 | 2,480 | 2,485 |
|           | タイプG   | 3S-GE | 2,980 | 2,975 | 2,980 |
| Z-R 4WS   | 3S-FE  | 5M/T  | 1,732 | 1,727 | 1,732 |
| Z-R       | 3S-FE  | 5M/T  | 1,642 | 1,637 | 1,642 |
| S-R 4WS   | 3S-FE  | 5M/T  | 1,581 | 1,576 | 1,581 |
| S-R       | 3S-FE  | 5M/T  | 1,491 | 1,486 | 1,491 |

◎掲載写真  
（除くオプション）

◎掲載写真  
（除くオプション）

注) GT-FOUR Aは、5速マニュアルトランスミッション車のみ設定。

ECT-S車は、5速マニュアルトランスミッション車に対して93千円高。

コンバーチブルは、全車4WS付。